

# 作業学習 学習指導案

日時 平成20年11月20日(木) 5校時  
場所  
生徒 7名

授業者 ○○○○

## 1 題材名 「コースターをつくろう」

## 2 題材について

### (1) 系統性

作業学習では、昨年度は、畑の作業、陶芸、フィンガーペインティングなどに取り組んできた。本年度は、工具・文具等の道具の使い方を学び、かつ、使い方に慣れることをめあてとし、1学期は、缶ぼっくり作りで金槌と釘の使い方を、また、ちぎり絵では、昨年フィンガーペインティングの流れで指先を使う練習をした。2学期は、身近にある材料でモビールづくりに挑戦した。

### (2) 題材について

生徒は、各実技教科において作品の製作に取り組んできた。1年生の家庭科ではフェルトを材料にティッシュボックスを制作した。2年生の美術では、木彫りでコースターを制作した。また、生活単元においては、刺し子のふきんを制作している。今回のコースター作りは、用具も身近にあるものを利用し、個々の興味・意欲・特徴に合わせた材料を用い、こつこつと作業を継続することによって、作品が仕上がっていくという期待感と達成感を味わうために適した教材と考えた。

### (3) 生徒の実態

(省略)

### (4) 指導にあたって

指導にあたっては、生徒個々の実態に合わせて、見本を見せる・手順を説明して見通しを持たせる・的確なアドバイスをする・手順に従って集中して作業を進める・報告し確認を受ける・うまくいったところをタイミングよくほめる、といったところに留意していきたい。また、生徒同士の関係をうまく使って、状況に応じて教え合いができるようにしたい。

### (5) 校内研究との関わり

本校の研究課題は「自ら意欲的に学習する生徒の育成～基礎・基本の定着とその活用する学習課程の工夫を通して～」である。

中学校特別支援教室における作業学習は、教科と関連づけた領域とであり、進路学習としても重要な分野であると考えられる。国語・数学等の各教科や技術・美術等の技能教科の力を生かしながら、経験を積み重ねることで、卒業後の各進路先での学習につなげることができる。と考える。

生徒は、自分にとって少しでも難しいと感じると消極的になってしまうこともあるので、まず、興味を持たせたい。そして、自分が取り組むことを自分で決定することで、課題意識を持たせ、見通しをもった取り組みをさせたい。

指導の構想については次の通りである。

#### ① つけさせたい力

- ・作業について説明されたことを理解し、見通しを持ち取り組める力。
- ・はさみなどの用具を上手に使うことができる力。

#### ② 本題材での基礎・基本

- ・作業の手順を聞き、作業の見通しを持つことができる。
- ・集中して作業を進めることができる。

- ③ 基礎・基本の定着方法
  - ・計画を立て、見通しを持つ。
  - ・手順通りに作品を作る。
  - ・報告をする。
- ④ 基礎・基本の活用方法
  - ・作業の見通しを持つことができる。
  - ・苦手な作業にも根気よく取り組むことができる。

### 3 題材の目標

#### (1) 指導目標

「コースター作りを見通しを持って集中して取り組むことができる」

#### (2) 題材の評価規準

- 〈 関心・意欲・態度 〉
  - ・見本（カード）を見て手順を理解し、意欲を持って集中して取り組むことができる。
- 〈 思考・判断 〉
  - ・わからないところがどこか、筋道を立てて伝えることができる。
- 〈 表現・技能 〉
  - ・用具について、安全に気をつけて取り扱うことができる。
  - ・手順通りに作業を進めることができる。
- 〈 知識・理解 〉
  - ・説明を聞いて正しく理解し、作業に取り組むことができる。

### 4 単元の指導計画と具体的評価規準（6時間扱い）

次・時	学習活動	評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	表現・技能	知識・理解
1	・作品作りの概要を理解する。	・仕上がりの作品を見ることで、関心を持つことができる。	・見本（カード）をみて、仕上がりのイメージを持つことができる。		・教師の説明と手順表で、これから取り組む作品について見通しを持つことができる。
2	・材料を揃える。 ・作業に取り組む。	・仕上がりイメージをイメージして、意欲をもって、集中して作業に取り組むことができる。	・手順表通りに作業を進めることができる。  ・本時の作業の振り返りを行うことができる。	・材料を揃えたことを報告することができる。 ・教具の仕組みを理解し、使うことができる。 ・作業の終了を報告することができる。	・教師の説明と手順表で、本時に取り組む。 ・作業について見通しを持つことができる。
3 (本時) 4 5	・材料を揃える。 ・作業に取り組む。	・仕上がりイメージをイメージして、意欲をもって、集中して作業に取り組むことができる。	・手順表通りに作業を進めることができる。  ・本時の作業の振り返りを行うことができる。	・材料を揃えたことを報告することができる。 ・教具の仕組みを理解し、使うことができる。 ・作業の終了を報告することができる。	・教師の説明と手順表で、取り組む作業について見通しを持つことができる。
6	・材料を揃える。 ・仕上げをする。	・仕上がりイメージをイメージして、意欲をもって、集中して作業に取り組むことができる。	・手順表通りに作業を進めることができる。  ・本時の作業の振り返りを行うことができる。	・材料を揃えたことを報告することができる。 ・教具の仕組みを理解し、使うことができる。 ・作業の終了を報告することができる。	・教師の説明と手順表で、本時取り組む作業について見通しを持つことができる。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

	生徒の様子	個々のねらい
A	略	話をよく聞き作業の取り組み、他の生徒の面倒もみることができる。 時間いっぱい作業に取り組むことができる
B		手順をとらえ、根気よく最後まで取り組むことができる。
C		難しいと感じても、根気よく最後まで取り組むことができる。
D		手順の見通しをもって、意欲的に取り組むことができる。
E		根気よく取り組み、他の生徒へのアドバイスができる。
F		手順の見通しがもてる。話を集中して聞くことができる。作業に集中することができる。
G		自分の作業をしながら、他の生徒の手助けすることができる。

(2) 学習内容と具体的な判断基準・支援

学習内容	評価規準	具体の評価		つまづきに対する 具体的支援・手立て
		十分満足できる状況	おおむね満足できる状況	
・作業に必要なものを準備し、確認・報告をする。	・材料一覧表を見ながら準備し、確認や報告することができる。	・材料一覧表を見ながら、一人で準備をし、確認や報告することができる。 必要に応じて他の生徒を手伝うことができる。	・材料一覧表を見ながら準備をし、教師と一緒に確認することができる。 その後、報告をすることができる。	・材料一覧表を見ながら、教師と一緒に材料を揃え、確認させる。
・本時の手順を確認し、見通しを持つ。	・本時の手順を確認し、見通しを持つことができる。	・手順表を見ながら、一人で確認をし、見通しを持ち、発表することができる。	・手順表を見ながら、教師と一緒に確認をし、見通しを持つことができる。	・手順表を見ながら、教師が声に出して手順を確認し、見通しを持たせる。
・手順表を確認しながら、作業を進める。	・手順表を確認しながら、作業を進めることができる。	・手順表を確認しながら、一人で作業を進めることができる。 必要に応じて他の生徒を手伝うことができる。	・手順表を確認しながら、作業を進めることができる。	・手順表を確認しながら、作業を進める。
・編み機を使用して、布や紐のかけ方に気をつけながら、作業を進める。	・編み機を使用して、布や紐のかけ方に気をつけながら、作業を進めることができる。	・編み機を使用して、布や紐のかけ方に気をつけながら、一人で作業を進めることができる。	・わからなくなったら教師に聞き、一緒に確認をしながら、編み機を使用して、布や紐のかけ方に気をつけながら、作業を進めることができる。	・編み機を使用して、教師が編み方をやって見せ、布や紐のかけ方に気をつけながら、作業を進めさせる。

(2) 本時の展開

	学習過程と5つの視点	学習内容及び学習活動	○ 具体の評価規準 * つまづきの手立て	教具 ・ 教材
導 入	1 あいさつ  2 前時の想起をし、手順を確認する。 【①興味・関心・意欲】 3 本時の課題の確認をする。 【②目的意識】	1 あいさつをする  2 作業に使用するものを準備し確認・報告をする。  3 本時の課題を確認する。	○ 材料一覧表を見ながら、準備し、確認・報告することができる。 * 教師と一緒に確認をさせる。	・ コースター ・ 材料一覧表 ・ 編み機 ・ 裂き布等 ・ はさみ
	<b>課題：手順を確かめながら取り組もう。</b>			
10分	4 手順の確認をする。 【③予想・見通し】	4 自分の本時の手順を確認し、見通しを持つ。	○ 本時の手順を確認し、見通しを持つことができる。 * 手順表を見ながら教師が声に出して手順を確認し、見通しを持たせる。	・ 手順表 (プリント・ 黒板掲示)
展 開	5 課題追求 作業開始 【④所属感・貢献感】      作業終了	5 手順表を確認しながら、作業を進める。  6 次に作業する内容について、声に出して確認する。  7 編み機を使用して、布紐のかけ方に気をつけながら、作業を進める。  8 わからないところは、順番を待って教師に聞く  9 作業の進んでいる生徒は他を手伝ってやる。  10 本時の作業が終わったことを教師に報告する。	○ 手順表を確認しながら、作業を進める。  ○ 編み機に布・紐を正しくかけることができる。  * 編み機・はさみ等を適切に使うよう声掛けをする。 ○ 解らなくなったら教師に聞き、一緒に確認をしながら編み機を使用して布・紐のかけ方につけながら、作業を進めることができる。 * 編み機を使用して教師が編み方をやってみせ、布・紐のかけ方に気をつけながら、作業を進めさせる。	・ 手順表 (プリント・ 黒板掲示)
終 末 10 分	6 まとめ 片付け 【⑤進歩感・成就感】  振り返り  7 次時の予告 8 あいさつ	11 片付けをする    12 感想を発表する。	それぞれのがんばりを評価する。	・ 振り返り表